



糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第2号

令和7年5月23日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

こすらないと、こすり合わない、みがかれないんです

校長 富永 浩文

「この優しさはどこから生まれるのだろう。」朝、時間がかかっても、1年生のペースに合わせて、寄り添い、励ましながら登校する上学年の子ども。恥ずかしがることなく、包み込むように小さな手をつないで、ほどよい力で引いてくれるリーダー。眼差し、言葉に、寛容さと温かさがあふれ、輝いて見えます。その光景を毎日目の当たりにし、嬉しく、ありがたく、心の中で手を合わせます。幸せな学校作りのために、子どもたちが自分のできる優しさで貢献してくれています。

「人間もね、こすらないと、こすり合わない、みがかれないんです。輝かないんです。」ある人の言葉です。こすることは、自分にストレスを与えることです。人と関わる上で、多少の困難に身を投じることです。こすり、こすり合うことで、人間の心や体、感性などはみがかれ、成長するのだと思います。運動会を前に、9日（金）の全校集会で次のように子どもたちに話しました。

運動会が2週間後に迫りました。赤白各軍、各学年で、応援や色々な種目の練習が始まっています。運動会は、皆さんにとっての成長の場、成長の機会、つまり、成長のチャンスです。一回り大きな自分になるためにがんばっていきましょう。応援団長の二人は、自分から立候補し、選ばれて団長になりました。他にも6年生からたくさん立候補した人がいたと聞いて驚きました。その中で選ばれたのですから、やる気十分、感謝の気持ち、覚悟も十分です。



みがき合い あいさつ運動から

私は、二人に言葉を贈りました。それは、「みがく」という言葉です。みがくという言葉はどのようなときに使いますか。歯磨き、床磨きなどがありますね。みがくことによってきれいにする、光り輝くようにすることです。光らせるためには、何かでゴシゴシこすらなければなりません。

人間も同じです。自分をみがくためには、自分自身をゴシゴシとこすったり、人とこすり合ったりしなければなりません。それは、ちょっとがまんして自分を追い込むことです。友達と競い合ったり、協力し合ったりすることです。私は、運動会こそ、自分をみがき、光らせるチャンスなのだと思います。だから、まず応援団長さんに、そんな気持ちをもってほしかったのです。

皆さんは、これから優勝という目標に向かって突き進みます。その中で、自分で、自分たちでいろいろ考え、こすり合い、みがき合うことで、光り輝き成長できるのです。当日の勝ち負けも大切ですが、私はそこまでの過程が大切だと思います。人任せではだめです。先生に頼ってばかりでもだめです。自分でこすり、自分たちで互いにこすり合い、みがきをかけるのです。24日の運動会の日まで、皆さんが、どんなふうに成長し、みがきがかかるのか、楽しみです。

冒頭で紹介した子どもたちの優しさも、こすり、こすり合うことでみがかれるのですね。